



2025 FIM世界耐久選手権 第3戦
“コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第46回大会

Coca-Cola 2025 Suzuka 8 hours



- 7月30日(水)：テストセッション
- 7月31日(木)：公式車検
- 8月1日(金)：フリー走行・公式予選
- 8月2日(土)：公式予選2・TOP10 トライアル
- 8月3日(日)：8時間耐久 決勝
- 三重県 鈴鹿サーキット
- 1周= 5.821km
- クラス：EWC
- マシン / BMW M1000RR
- タイヤ / BRIDGESTONE

9 関口 太郎 / 亀井雄大 / 中村竜也

予選 26番手 best : 2分08秒009
average : 2分08秒123

決勝 12位 211周



三明電気工事



Motorcycle CS2



プライベーター最上位！チーム最高位を更新する12位フィニッシュ!!

2025年の鈴鹿8耐が無事終わった。トップ10を目標にTeam TARO PLUSONE with SDGとして4回目のチャレンジに挑んだ結果、チーム最高位を更新する12位でフィニッシュを果たした。



今年は、ライダーラインナップを一新。全日本ST1000クラスに参戦している亀井雄大と関口と同じ全日本JSB1000クラスを走っている中村竜也を起用。亀井は、JSB1000クラスで活躍し、今年はST1000クラスにスイッチ。SUGOラウンドでは優勝を果たし、スピードのあるライダーだ。中村は、25歳だが昨年はBMWで出場しており鈴鹿8耐の経験も豊富。

6月に2度行われた合同テストは、マシントラブルがあったものの、早い段階でトラブルが出てくれたおかげで対処でき、亀井、中村にもTeam TAROのBMW M1000RRに慣れてもらうことができていた。事前テストを終え、約1カ月のインターバルがあったが、関口は、レースウィークを迎えるまで準備に追われた。

天気予報では、連日猛暑日が伝えられ、気温40度越えも記録される厳しい暑さに見舞われた日本列島。鈴鹿も例外ではなく、水曜日のテストセッションから走行が始まったが、路面温度は70度近くまで上がった。ここまで順調に進んできたが、この日から亀井が体調を崩してしまう。木曜日は車検日だったため療養してもらい、金曜日は予選1回目だけ走り、回復に努めてもらった。



公式予選は、亀井がチームベストとなる2分08秒009をマーク。関口が2分08秒236、中村が2分08秒343と3人とも2分08秒台を記録。平均タイムは2分08秒123となり26番手グリッドから追上げを狙いたいところだが、亀井の体調が心配された。亀井の体調次第では、関口と中村の2人で走ることも想定しなければならない状況となっていた。



土曜日のフリープラクティス、日曜日朝のウォームアップ走行で最後の確認を行い、スタートライダーは関口が担当することになった。関口は過去に負った怪我の影響で、ライダーがマシンに駆け寄るル・マン式スタートでは、どうしても走って止まるときの踏ん張りが効かないため、今までスタートライダーはやっていなかった。しかし、当初スタートライダーをする予定だった亀井の体調を考慮し、関口が担当

した方が良いという判断だった。そんなチームの思いが届いたのか、日曜日に亀井は姿を現し、完調ではないものの2スティントはこなせると進言。関口がチェッカーライダーも担当し、4スティントを走るスケジュールが組まれる。

決勝が始まると、スタートでやや出遅れるが想定内。オープニングラップは28番手だったが、徐々にポジションを上げていく。中村、亀井とバトンをつなぎ、チームもミスなくピット作業をこなしてライダーをバックアップ。レース終盤には、13番手に浮上し、前を走るチームを追っていく。これは実質プライベーターチームのトップ争いと言える争いだった。すると前のチームに問題が発生し、イレギュラーのピットイン。これで一つポジションを上げると、そのままチェッカー。セーフティーカーが2度入ったため周回数は昨年より少なかったが、チーム最高位を更新する12位でゴール。来年の鈴鹿8耐のシード権も同時に獲得したのだった。



チームのベストリザルトとなる12位で完走することができました。最高位を更新することに携われて良かったですし、レーシングライダーとして多くのことを学ばせていただきました。関口選手を始め、チームの皆さま、スポンサーの皆さまに感謝いたします。自分自身としては、関口選手、亀井選手より少しアベレージが遅かったのですが、厳しいコンディションの中、実際に速く走っている2人を見て、2スティント目より3スティント目と走る度にアジャストできたのは大きな収穫でした。走る機会をいただいた上に、アドバイスもしてくださった関口選手には感謝がありません。この経験を今後のレースに生かしていきたいと思っています。

中村 竜也

水曜日のテストセッションを走った後に体調を崩してしまいチームにご迷惑をおかけしてしまいました。ギリギリまで待っていてくれたので、何とか決勝で2スティント走ることができました。ただ、想定していたペースで走ることができなかったですし、関口選手に負担をかけてしまいました。その中でチーム最高位を更新できたのは、Team TAROの皆さまのおかげです。事前テストから本当に良い雰囲気でも走らせていただきました。あらためて鈴鹿8耐を走らせていただく機会を作っていただいた関口選手、チーム、スポンサーの皆さまにお礼を申し上げます。ありがとうございます。

亀井 雄大

2025年の鈴鹿8耐も三井電気工事様、SDG様を始め、多くのスポンサーの皆様、関係者のおかげで4回目のチャレンジができました。今回もいろいろなことがありましたが、多くの皆さまに支えられ、8時間を戦い抜き結果は12位とチーム最高位を更新できました！ミスなく作業をしてくれたチームスタッフ、一緒に走ってくれた亀井選手と中村選手に感謝しています。一時は、2人で走ることも覚悟して

しましたが、亀井選手が何とか決勝に間に合わせてくれたので、結果につなげることができました。毎年ですが、今年は本当に暑かったですね。そんな酷暑の中、現地に駆けつけてくださった皆様を始め、応援してくださったすべての皆様、ありがとうございました。すぐに全日本後半戦が始まるので、しっかり準備していきます。引き続き応援よろしくお願いいたします。

関口 太郎